

〈国語科〉 6年

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・ほぼ全ての観点において目標値、区の平均正答率、全国平均正答率を上回った。昨年度の課題であった聞き取りの問題でも、全国平均を上回った。結果は良い。
- ・「漢字を書く」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」の問題では、全ての問題において目標値、全国平均を上回っている。
- ・「作文」の問題では、区の平均から約1%下回った。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・5年生の配当漢字の読みについて全体的にはできているが、個人差が見られる。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・自分の立場や意図をはっきりさせ計画的に話し合うことに課題がある。
- ・構成に気をつけて文章を書くことに課題がある。
- ・説明文において、段落のまとまりを考えながら読み取ることに課題がある。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・自主的に取り組む態度に個人差があること。発言では、児童一人一人が進んで自分の考えを発言しようとする態度を育てること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・新出漢字を日常的に確実に読み書きできるよう、小テストなどを活用して繰り返し学習し、指導する。
- ・文章を書くときには習った漢字を使うことを継続して声をかけていく。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・話の意図が何なのか考えることを意識できるように日常的に言葉掛けを行っていく。
- ・目的を明確にした話し合いの機会を多くし、相手の考えや意見を聞いた上で、自分の意見や考えを伝えたり、新たな提案をしたりする経験を積ませる。
- ・司会のある話し合いをする機会を増やし、流れに沿った話し合いができるように指導する。
- ・作文指導を中心に継続して取り組み、段落構成を考えて書くよう指導する。
- ・段落の要点を見付けることや、文章を意味段落に分けて全体の構成を捉えることなどを指導する。
- ・文章の内容を表にまとめたり矢印で結んだりといった方法を使って、段落相互の関係や事実と感想、意見などの関係を押さえながら読む活動を取り入れる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・児童が関心をもって取り組める教材や授業展開を工夫し、主体的、意欲的に取り組めるようにしていく。
- ・授業の中に少人数での話し合いを積極的に取り入れ、（コロナ対応に気を付ける）相手の話を聞き、自分も発言する機会を増やす。すすんで友達の意見を聞き、自分の考えを伝えようとする態度を育てたり、どの子も無理なく発言できる発問を考えたりする。
- ・分からない言葉や意味はすぐに調べるなどして、学習に対して積極的に取り組む姿勢をもたせる。